

**FUJITEC 75**

# 2024年3月期第2四半期 連結業績概要

(2023年4月1日から2023年9月30日まで)

2023年11月8日

**フジテック株式会社**

(東京証券取引所プライム市場: 6406)

## 2024年3月期第2四半期連結業績概況

- 前年同四半期比 増収増益。売上高1,070億24百万円（14.8%増）、営業利益83億93百万円（74.5%増）。売上高、営業利益ともに、上半期として過去最高を記録
- 第2四半期は受注、売上が順調に拡大し、利益も大きく改善。すべてのセグメントで増収。売上高の増加と採算性の改善が寄与し大幅な増益を確保
- 受注高は1,214億15百万円(20.5%増)。日本で新設、モダニゼーション・修理工事が大きく増加し、保守が堅調。東アジアで中国の不動産不況の影響で新設工事が減少となるも、南アジア、米州・欧州で新設・モダニゼーション工事が好調

## ステアリング・コミッティを発足

- 中長期で目指すべき方向性や重要戦略の検討・策定を行うステアリング・コミッティが活動を開始

## トピックス

- 更なる商品品質の向上に向け、エレベータの部品解析・評価センターを本社「ビッグウイング」に建設開始
- 社長就任会見において「不易流行に基づく、新しいフジテック経営のあり方に関する所信表明」を発表
- シンガポールの高層オフィス「OUBセンター」にリニューアルしたエレベータ19台を納入



## 2024年3月期第2四半期連結業績概況

# 第2四半期 連結業績ハイライト

FUJITEC

- 前年同四半期比増収増益。売上高、営業利益ともに、上半期として過去最高を記録
- 営業利益は、原材料費は高止まるも、好調な売上と採算性の向上が寄与し大幅に増益

(単位：百万円)

	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	前年同四半期増減(%)
売上高	93,221	107,024	14.8
国内	33,392	37,860	13.4
海外	59,829	69,164	15.6
営業利益	4,810	8,393	74.5
経常利益	6,503	10,714	64.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,596	7,722	68.0
1株当たり四半期純利益	57.61円	99.01円	—

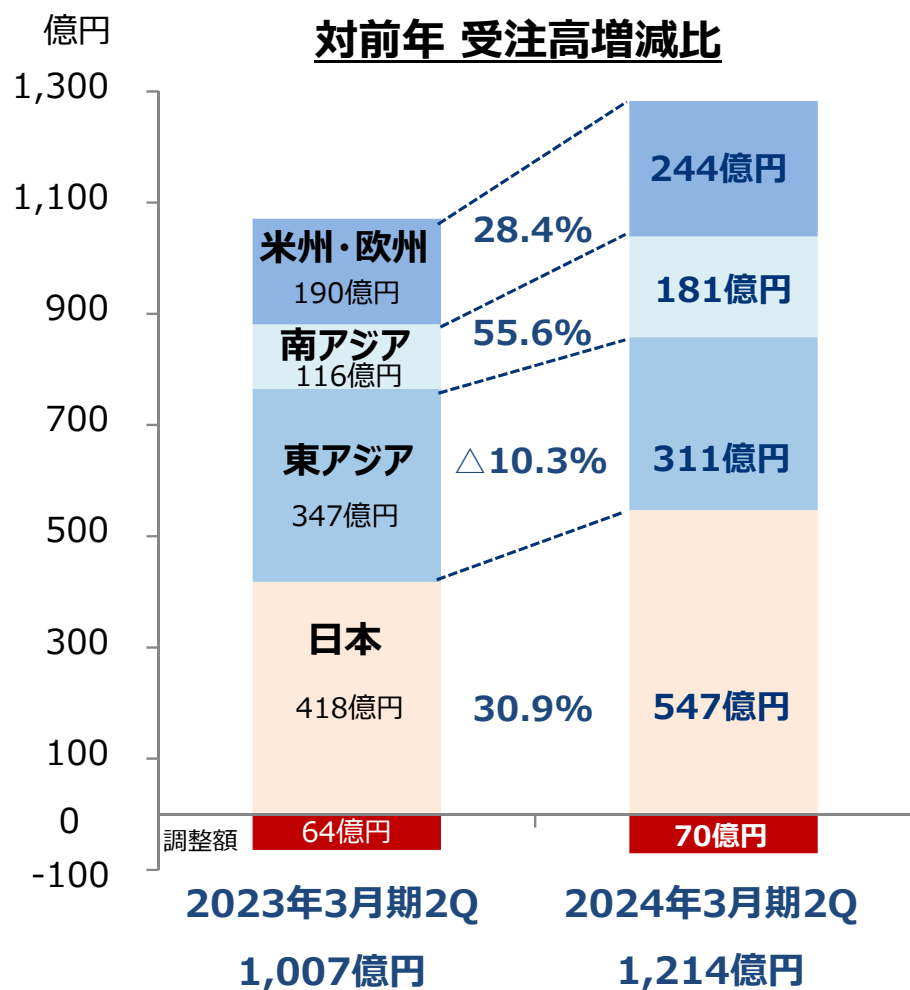
対米ドル円為替レート

120.91円

134.49円

# 第2四半期 受注高実績

- 前年同四半期比 20.5%増
- 国内は、大幅に増加。海外は、東アジアの新設工事を除き、新設・モダニゼーション工事が好調



**国内**

- **新設事業**
  - 前年同四半期の上海ロックダウンによる部品輸入停滞に伴う受注抑制の反動、原材料費・物流費の高騰を反映した価格転嫁の効果을背景に大きく増加
- **アフターマーケット事業**
  - モダニゼーション工事は前年同四半期で増加
  - 修理工事や高い契約率を維持する保守は引き続き堅調に推移

**海外**

- **新設事業**
  - 東アジアは、中国で不動産不況の影響で減少
  - 南アジアは、シンガポール、インドで増加
  - 米州・欧州はアルゼンチンで増加
- **アフターマーケット事業**
  - シンガポール、米国でモダニゼーション工事が増加

グラフ内の数値：受注金額

# 第2四半期 セグメント別業績ハイライト

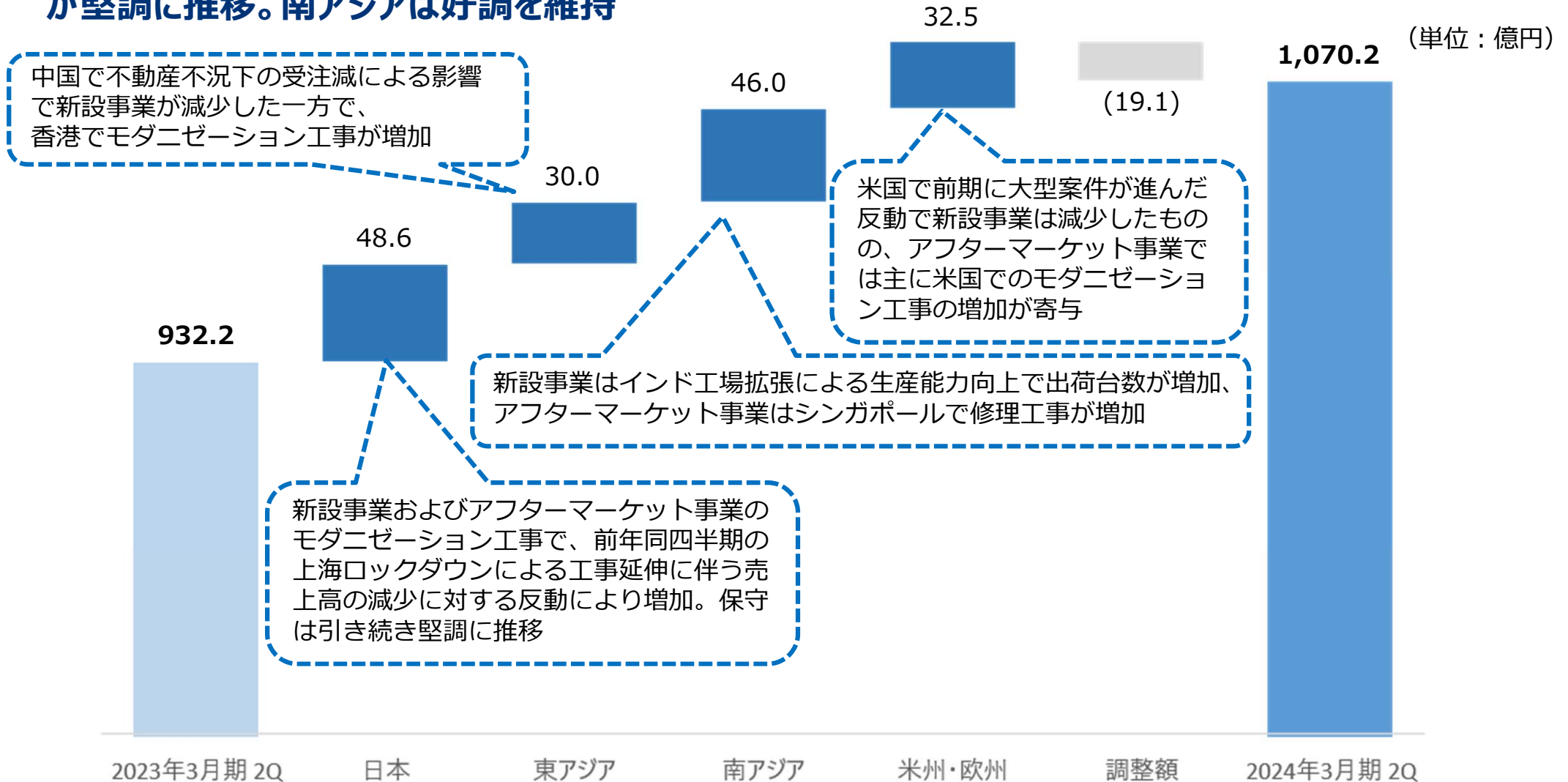
- 売上高は、全セグメントで増収。日本、南アジア、米州・欧州が好調を維持。東アジアは中国の不動産不況が影響し鈍化
- 営業利益は、日本、東アジア、南アジアで好調な売上と収益性改善により増益。米州・欧州は、カナダで新設事業の採算低下による影響で減少

(単位：百万円)

	売上高			営業利益または営業損失		
	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	増減率(%)	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	増減額
日本	34,579	<b>39,442</b>	14.1	△136	<b>2,171</b>	2,307
東アジア	35,990	<b>38,994</b>	8.3	2,019	<b>2,723</b>	703
南アジア	10,595	<b>15,199</b>	43.4	2,353	<b>3,097</b>	744
米州・欧州	17,309	<b>20,560</b>	18.8	635	<b>587</b>	△47
小計	98,475	<b>114,197</b>	16.0	4,872	<b>8,580</b>	3,708
調整額	△5,253	<b>△7,172</b>	—	△61	<b>△187</b>	△125
合計	93,221	<b>107,024</b>	14.8	4,810	<b>8,393</b>	3,583

# 第2四半期 売上高ブレークダウン

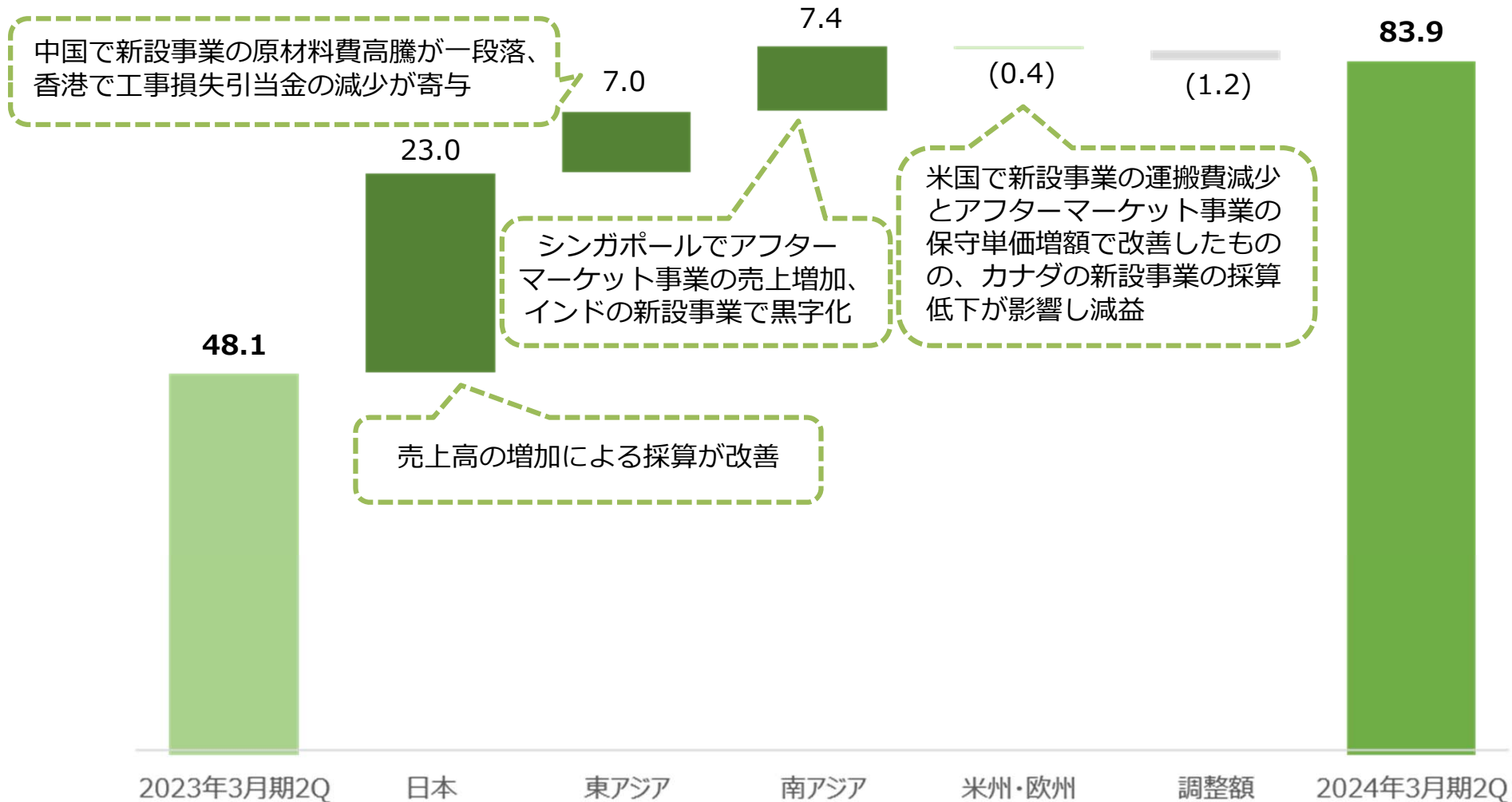
- 日本で新設事業、アフターマーケット事業ともに大幅増。東アジア・米州・欧州は、アフターマーケット事業が堅調に推移。南アジアは好調を維持



# 第2四半期 営業利益ブレイクダウン

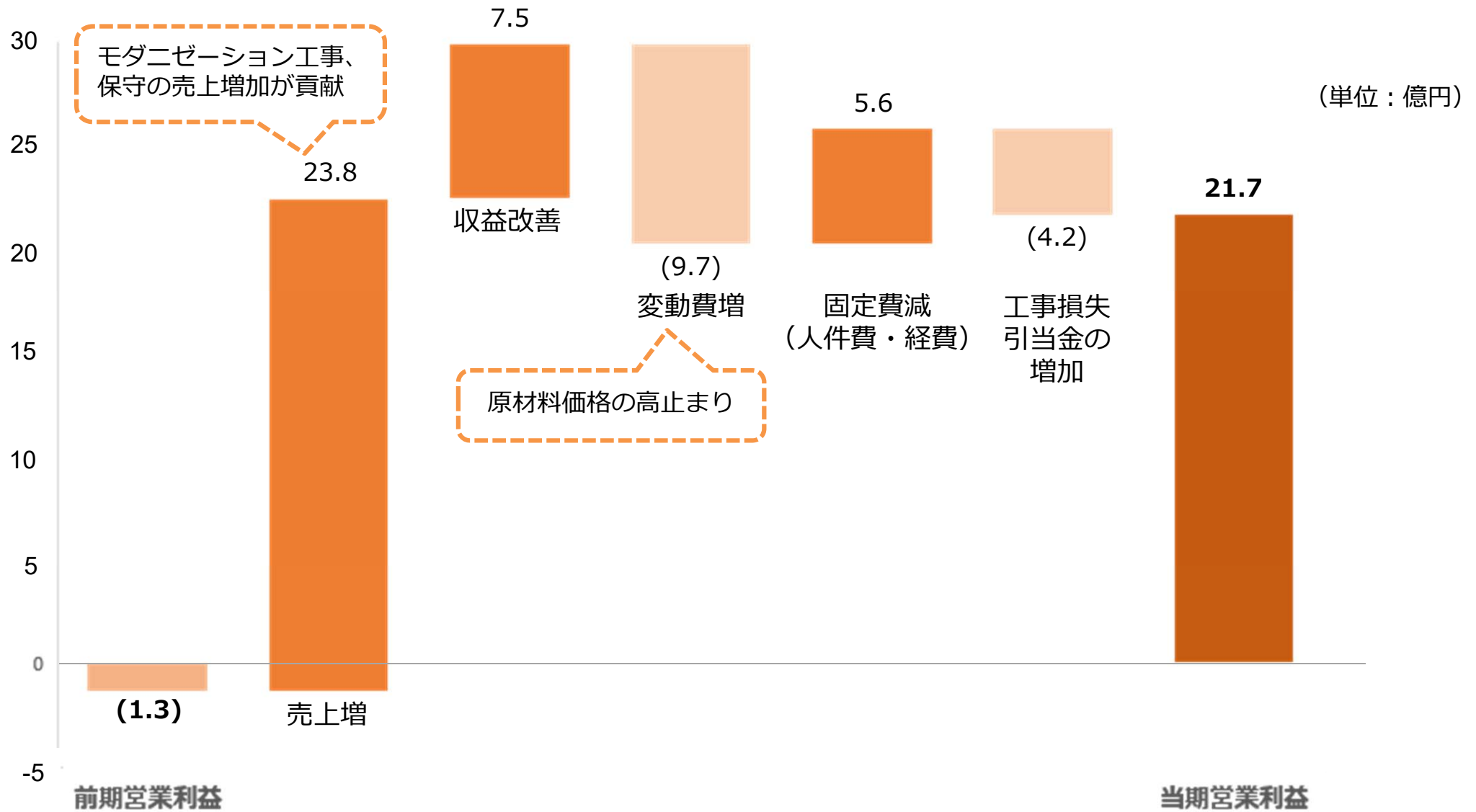
- 日本、東アジア、南アジアで、売上高の増加と採算性の改善が寄与し増益。  
米州・欧州は、カナダで採算悪化が影響し減益

(単位：億円)





# 第2四半期 営業利益要因分析（国内）



## 品質に特化した解析・評価センターを建設

- 更なる商品品質の向上に向け、エレベータの部品解析・評価センター「（仮称）品質ラボ棟計画」を、本社・研究開発・生産拠点「ビッグウイング」（滋賀県彦根市）に建設。2025年2月の完成予定
- エレベータ各種部品の性能・信頼性・安全性を評価する実験設備や走行テストなどを行う検証用のエレベータを備え、据付工事の効率化に向けた工法ならびに既設のエレベータ・エスカレータの品質担保に関する検証も行う



- 従来は商品開発における技術の機能評価と一体となって進めてきた実験・検証を品質面に特化して行うことで、品質管理の強化や商品の性能・信頼性の向上を目指す

完成イメージ図

## 労働安全衛生指針・健康宣言を策定

- いきいきとした職場づくりに向け、新たに「労働安全衛生指針」「健康宣言」を策定。海外を含む全従業員に展開

## 社長就任会見

- 9月19日、社長就任会見において「不易流行に基づく、新しいフジテック経営のあり方に関する所信表明」を発表
- 「不易（変えないもの）」として「“安全・安心”の追求」、「品質重視」、「人材の育成」、そして「流行（変えるもの）」として、ビジネスの「選択と集中」、「グループ経営の強化」、「ガバナンスとコミュニケーションの充実」を挙げて考えを説明



代表取締役社長 原田 政佳



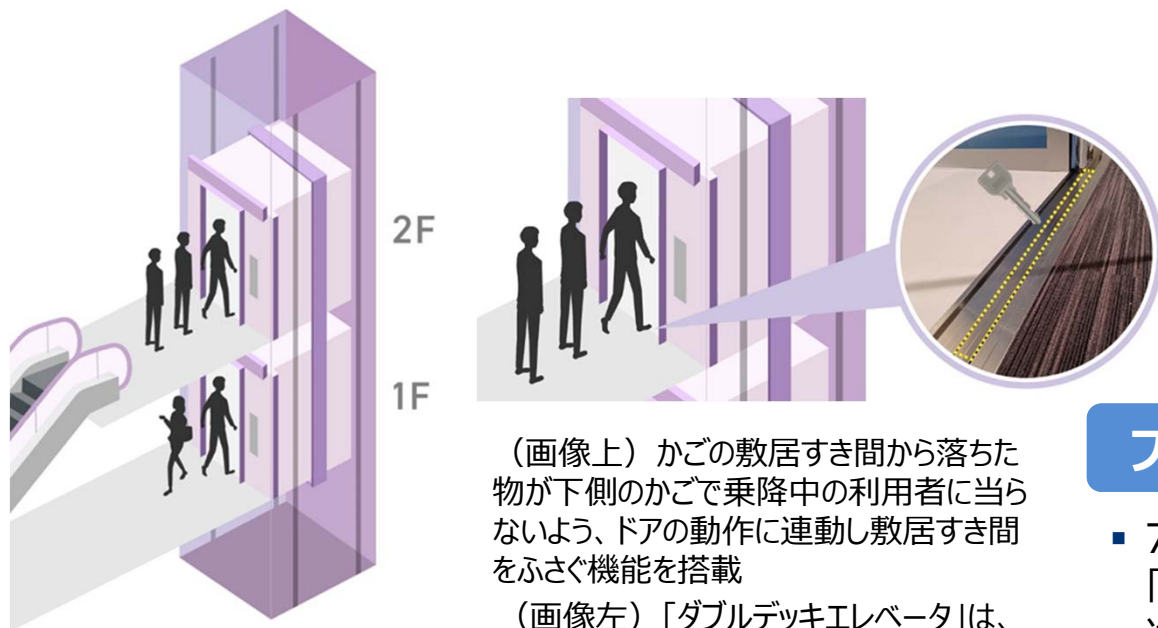
社長就任会見  
動画

## ステアリング・コミッティ発足（設定）

- 今後、当社が中長期で目指すべき方向性や重要戦略の検討・策定を行う機関として、社外取締役2名、主要執行部門本部長をメンバーとするステアリング・コミッティを発足し、活動開始

## 「麻布台ヒルズ」にエレベータ・エスカレータを納入

- 「麻布台ヒルズ」（東京都港区）のA街区・森JPタワーにエレベータ39台、エスカレータ27台、計66台を納入。当社はB-2街区にも納入予定で、合計設置台数は110台となり、国内で携わったプロジェクトとして過去最多
- 本プロジェクトでは、一度に多くの人を運ぶことができるダブルデッキ（2階建て）エレベータ16台が稼働



（画像上）かごの敷居すき間から落ちた物が下側のかごで乗降中の利用者に当たらないよう、ドアの動作に連動し敷居すき間をふさぐ機能を搭載

（画像左）「ダブルデッキエレベータ」は、かごが上下に連結した2階建てエレベータ

## シンガポール随一の高層オフィスビルをリニューアル

- 高層オフィス「OUBセンター」にリニューアルしたエレベータ19台を納入。竣工・納入から30年以上が経過することから、2019年10月からエレベータのリニューアル工事を実施。最新機能を搭載したエレベータは、速度アップと新システムの導入による移動時間の短縮、揺れの少ない快適な乗り心地を実現



## フジテック・ホンコン「新規受注10,000台」達成

- 7月21日、来年設立60周年を迎えるフジテック・ホンコンで「エレベータ・エスカレータ新規受注台数累計10,000台」を達成

参 考 情 報

# 連結貸借対照表

FUJITEC

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年9月末	増減額	備考
流動資産	159,132	180,692	21,560	
現金及び預金	58,297	76,334	18,037	日本、東アジア、南アジア(長期定期預金からの振替+8,061を含む)で増加
受取手形、売掛金及び契約資産	75,545	77,440	1,894	米州・欧州での増加
棚卸資産	20,654	23,019	2,365	南アジアでの増加
その他	7,771	7,384	△386	
貸倒引当金	△3,135	△3,487	△351	
固定資産	70,966	65,332	△5,633	
有形固定資産	38,506	38,934	427	設備投資+1,356 減価償却△1,864 為替ほか+935
無形固定資産	5,368	6,166	797	
投資その他の資産	27,090	20,232	△6,858	長期定期預金の現金及び預金への振替による減少△8,061 株価上昇に伴う投資有価証券の増加+1,663
総資産	230,098	246,025	15,926	
流動負債	79,888	82,593	2,704	前受金+1,825 支払手形及び買掛金+1,429
固定負債	6,092	6,486	394	
純資産	144,118	156,945	12,827	為替換算調整勘定+6,019 利益剰余金+4,601 その他有価証券評価差額金+1,220
自己資本比率	55.6%	56.9%	1.3pt	
B P S	1,640.29円	1,792.92円	152.63円	

# キャッシュフローの状況

FUJITEC

(単位：百万円)

	2023/3 2Q	2024/3 2Q	増減額
現金及び現金同等物 期首残高	39,042	<b>31,463</b>	△7,578
営業活動キャッシュ・フロー	4,037	<b>14,157</b>	10,119
投資活動キャッシュ・フロー	2,200	△ <b>3,198</b>	△5,399
フリーキャッシュ・フロー	6,238	<b>10,959</b>	4,720
財務活動キャッシュ・フロー	△7,532	△ <b>8,344</b>	△811
現金及び現金同等物 期末残高	43,671	<b>35,680</b>	△7,990

# 主な受注・完成実績

## 新設工事

完成

麻布台ヒルズ (A街区)  
(日本・東京)  
エレベータ39台  
エスカレータ27台



受注



## モダンゼーション工事

完成



シャングリ・ラ 北海  
(中国・北海市)  
エレベータ8台

Quartier Plaza  
(アルゼンチン)  
エレベータ18台

完成



OUBセンター  
(シンガポール)  
エレベータ19台

社名	フジテック株式会社
設立	1948年2月（創業75周年） （1974年2月東証第一部上場、2022年4月東証プライム市場移行）
本社	ビッグウイング 滋賀県彦根市宮田町591番地1
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資本金	125億33百万円（発行済株式数78,900,000株）
役員	代表取締役社長 原田 政佳 取締役：9名（うち社外6名） 監査役：4名（うち社外2名）
従業員数	連結 11,539名（単独 3,247名）
関係会社	40社（内、連結子会社24社） （米州、東アジア、南アジア、欧州・中近東）



本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。

既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2023年11月8日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2023年11月8日

# フジテック株式会社

2024年3月期第2四半期 連結業績概要

